

文学館、いかに<魅せる>か

— 文学と出逢う場所をつくる —

参加申込
不要

日時

令和6年12月7日(土) 13:20~16:10

場所

静岡県立大学草薙キャンパス 小講堂(200名)

対象

県内文学館、図書館関係者ををはじめ、どなたでもご参加いただけます。
(公開シンポジウム)

第一部 基調講演

講師

萩原 朔美氏

(前橋文学館特別館長、萩原朔太郎令孫)

講演テーマ

「街は一冊の本に帰す」



萩原 朔美 はぎわら さくみ

1946(昭和21)年東京生まれ。母は小説家・萩原葉子。祖父は詩人・萩原朔太郎。67年から70年まで、寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷に在籍、演出家として活躍。

第二部 シンポジウム

◆静岡県立大学 細川ゼミ学生による事例報告
(SNSによる学生からの文学館情報の発信)

◆パネルディスカッション

テーマ 「文学館、いかに<魅せる>か」

コーディネーター 細川 光洋氏 (静岡県立大学教授)

パネリスト 那須野 絢子氏 (常葉大学講師・焼津小泉八雲記念館非常勤学芸員)

徳山 加陽氏 (長泉町井上靖文学館学芸員)

【後援】伊豆文学フェスティバル実行委員会 文学情報発信拠点化連携モデル事業

お問合せ

静岡県立大学 細川光洋(☎054-264-5342)